

audio research
HIGH DEFINITION®
オーディオ・リサーチ社

新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社ではこの度、オーディオ・リサーチ社製品の最上級ライン“リファレンス・シリーズ”より新たな真空管モノラル・パワーアンプ「Reference 160M」を発売いたします。オーディオ・リサーチ社の伝統と革新の技術により、一層魅了されるエクステリア・デザイン、そしてより洗練された『High Definition=高解像度』サウンドを実現いたしました。

つきましては別紙資料をご参照いただき、ご試聴ならびにご検討いただけましたら幸甚に存じます。

敬具

記

■メーカー名	audio research (オーディオ・リサーチ/アメリカ)
■製品名	真空管モノラル・パワーアンプ
■機種名	Reference 160M
■希望小売価格	2,300,000 円(1 台・税別)
■発売日	2018 年(平成 30 年) 9 月 20 日

以上

■audio research 社について

オーディオ・リサーチは、1970年 ウィリアム・Z・ジョンソン氏によりアメリカ合衆国中西部に位置するミネソタ州、ミネアポリス市に設立されたハイエンドオーディオ・メーカーです。

「ミネアポリス・サウンド」として音楽シーンにもその名を残すほどさまざまな音楽文化が栄え、豊かな自然が溢れる街です。

同社は世界に現存する中でも最も歴史あるメーカーの一つであり、真空管を使用したアンプ造りのリーダーとして当時から世界中に知られており多くのオーディオファイルに数々の名機が愛用されている老舗ブランドです。

全てのモデルはペアリングが図られた厳選真空管や高品質パーツを使用し、一台一台がオーディオ・リサーチ社の熟練したエンジニアにより手作業で組み込まれ、何項目ものチェックを経た上で長時間のバーンインが行われた後、さらに入念な検査が行われ出荷されます。

■Reference 160M 開発思想

オーディオ・リサーチ社がフラッグシップ・ラインとして位置づけする“リファレンス”シリーズ。その最新モデルであるモノラル・パワーアンプ“Reference 160M”は永き開発期間を経て誕生しました。創業以来オーディオ・リサーチが誇りとしている『High Definition＝高解像度』サウンドを受け継ぎながら、これまでに聴いたことのない全く新しいリアルサウンドを奏でるアンプの完成を目指したのです。

本機ではこれまでの設計よりも部品点数を極力減らして、信号経路内のコンポーネントを簡潔化したオーディオ・トポロジーの最適化を実現させました。特徴的な設計回路にはオーディオ・リサーチが誇る様々な技術が盛り込まれています。

例えばオーディオ・リサーチが独自に開発したオート・バイアス機能、出力管の保護・モニタリング機能、高精度な2重スクリーンパワーメーター、ウルトラリニア/トライオード動作の切替機能など、オーディオ・リサーチの真空管アンプに対する意欲的なチャレンジを具現化した作品です。

■Reference 160M 製品概要

“Reference 160M”は、これまでの伝統的なオーディオ・リサーチのデザインを保持しながら、新たな技術とデザインセンスを投入することでさらなる進化を果たした大出力真空管モノラル・パワーアンプです。

オーディオ・リサーチのアイデンティティとも言えるフロントパネルに新しく採用されたのは、美しいガラスのフェイス・プレート。

これは形も美しい KT150 出力管を見せるだけでなく、革新的な技術によって設計された 2 層構造によるガラスプレートで、出力レベルの表示だけでなくウルトラリニア/トライオード各動作時のパワーメーター表示が可能となっています。

LED により灯されるフロントパネルは、消灯含め 4 段階の明るさ調整が可能です。

“Reference 160M”には、パワフルな出力管 KT150 を 4 基、ドライバー管には 6H30Pi を 2 基搭載しています。

出力管 KT150 は、6550/KT88 系列の最新多極管であり、プレートサイズを大型化し 70W(KT88 では 35W)という従来の真空管よりも大きなプレート損失を実現しています。卵型バルブにより放熱性能を強化するとともにマイクロフォニックノイズの低減が図られています。

増幅管に使用されている 6H30Pi は、低ノイズであり Ep-Ip 特性の直線性が非常に良い双三極管です。極めて低いノイズフロアの増幅回路により、低 S/N 比と安定した電流伝送を実現しています。

それぞれの真空管はオーディオ・リサーチの工場にて一つ一つが丁寧に選別され、厳密に特性を合わせたマッチド・ペアの管球が搭載されます。

製品保護カバーは、放熱ファンが内蔵されたパンチング処理のアルミカバーであり、優れた放熱性能を確保しています。さらに電源部には新設計の大容量・高出力トランスを採用することで、音声信号のピークレベル突入電流にも悠々と耐えます。これにより、従来に比べ圧倒的な低域再生が可能となりました。

回路設計において望ましいのは最短での経路ですが、これは音質面でも回路の美しさにおいても優れた設計である事が理想です。

オーディオ・リサーチのエンジニアはこの理念の基、新たな回路トポロジーを開発しました。

それは、厳密に選別した各部品による回路そのものだけでなく、特殊設計による 4 層回路基板により構成されています。

オーディオ・リサーチのプリアンプシステムにも採用されたこの回路基板設計技術により、さらなるノイズの低減を実現しています。

“Reference 160M”は標準装備される KT150 に加え、6550 をはじめ KT88、KT120 などの同タイプ真空管で動作させることができます。

オーディオ・リサーチ独自のオート・バイアス調整機能は、真空管交換時に出力管の特性を最大限確保するための正確なバイアスを維持しながら、経年劣化を免れない真空管のバイアス値を自動でモニタリングし、最適な動作を得るための自動調整を行います。

そのため繊細な作業が要求されるバイアス調整などをユーザーが行う必要がなく、ただ真空管を入れ替えるだけで最適なモニタリングを行います。

他のオーディオ・リサーチ製品と同様に、“Reference 160M”も1台1台が熟練した職人の手作業により組み上げられます。

仕上げはナチュラル・シルバーとブラックの2色が選択できます。

■Reference 160M 仕様一覧

- ・形式 : 真空管式モノラル・パワーアンプ
- ・入力系統 : 1×アナログ・バランス (XLR)
1×アナログ・アンバランス (RCA)
- ・出力系統 : スピーカー出力 4Ω/8Ω/16Ω
- ・定格出力 : 140W
- ・周波数特性 : 0.5Hz~110,000Hz (-3dB, 1W)
- ・入力感度 : 2.4V RMS
- ・SN比 : 101dB
- ・オーバーオール・NFB : 14dB
- ・使用真空管 : 出力段 KT150 (マッチド・ペア) ×2組 (4本)、ドライバー段 6H30Pi×2本
- ・消費電力 : 最大出力時 700W スタンバイ時 1W 以下
- ・寸法 : W483 × D527 × H260 (mm、突起部含む)
- ・重量 : 25.5kg (1台)

■ Reference160M 製品写真

